

与那国島関係文献目録

これは、沖縄・与那国島に関する文献目録である。自然あるいは人文・社会といった分野にこだわらず、多少とも関係があると考えられる文献で、一九八三年三月末現在までに発行されたものを収録した。原則として一つ以上の節あるいは章をさいて与那国島について述べた文献を収録し、断片的なものはその分野において引用を落とすことができないと考えられるものに限った。なお、新聞や週刊誌に発表された資料は割愛した。

沖縄に関する文献目録は各分野にわたって数十種類以上も作られている。しかし、特定の島について存在する文献を網羅しようとする試みはほとんど行なわれてこなかった。ある地域についてどのような文献がこれまでに公表されてきたかを知ることが、島の人々自身にとって大きな関心事であるうし、琉球弧のように島ごとの自然と風土の地域差がきわめて大きい地域を研究しようと志すものにとっても重要な指針となるだろう。本文献目録を作成するにあたって参照させていただいた諸文献目録のうちの主なものを冒頭に掲げておく。与那国町教育委員会、琉球大学附属図書館参考調査係をはじめとして多くの方々の御教示をたまわったことを感謝する。

本目録作成にあたって参照した文献目録

- SAKAMAKI, Shunzo 1963 "Ryukyu Islands: a bibliographical guide to Okinawan studies" University of Hawaii Press, Honolulu
- 琉球大学附属図書館 一九六六「琉球郷土資料目録 改訂増補版(一九六五年七月三十一日現在)」
- 一九八〇「琉球大学 沖縄関係資料目録 増加版(一九七八年十二月末現在)」
- 沖縄史料編集所 一九七二「沖縄関係文献目録」
- 山路勝彦(編) 一九七二「沖縄・奄美関係文献目録」日本民族学会編「沖縄の民族学的研究」

南島史学会(編) 一九七二～一九八二「南島関係文献目録」『南島史学』一号～二〇号

田港朝昭・比嘉政夫 一九八〇「沖縄に関する人文・社会科学の文献資料目録」『文化系文献目録 XXV』日本学術会

議第一部

松村敬子 一九八一「八重山諸島民族学関係文献目録」『リトルワールド研究報告』第五号 人間博物館リトルワールド

地域史まつり実行委員会(編) 一九八二「沖縄・奄美 地域資料総合目録」沖縄県地域史協議会

あ行

- 青位真一郎 一九七五「クブラバリ見聞」『青い海』四一
- 安里長祐 一九七七「花酒(与那国島)」『沖縄春秋』二二二号
- 朝日新聞社(編) 一九六九「沖縄の孤島」朝日新聞社
- 秋山吉則(未刊行原稿)「沖縄与那国島の地形」広島大学文学部地理学科卒業論文
- 東 清二 一九六五「与那国島の蛾類」『沖縄生物学会誌』第二卷四号
- ・本元新作 一九七八「与那国島のハムシ」『琉球大学農学部学術報告』二五号
- 足立文太郎 一九九五「琉球与那国島岩洞中ノ一頭蓋」『東京人類学雑誌』一一四号
- 天野鉄夫 一九七九「琉球列島植物方言集」新星図書
- 新 敏夫 一九七〇「八重山群島の植生」『道伝』二四(七七)
- ・新納義馬 一九六九「与那国島の植物相」『鹿児島大学理科報告』一八
- 新川 明 一九七八「与那国島」『新南島風土記』大和書房
- 東浜永成・富里康子 一九八一「与那国島の祭事」『まつり』三七号
- 有吉佐和子 一九八一「西の果て台湾が見える——与那国島——」『日本の島々、昔と今』集英社
- 飯島 茂 一九八二「日本列島…女性原理の世界」『季刊人類学』一三(三三)
- 飯泉 茂(編) 一九七四「与那国島の草地生態に関する研究」総研(A)昭和四十七年度報告書 仙台

- 大中重雄 一九七九「与那国島の芸能」『沖縄県文化財調査報告書』二十 沖縄県教育委員会
 大浜信賢 一九七一「八重山の人頭税」三一書房
 沖縄映画部 年代不明「与那国ショングナー」『ショングナー』の語源について『沖縄演劇』五六
 沖縄県教育委員会 一九七七「沖縄県民俗分布図」『民俗文化財緊急調査報告書』一
 一九八〇「沖縄県文化財調査報告 第二九集 竹富町・与那国町の遺跡」『詳細分布調査報告書』一
 沖縄県教育庁文化課 一九七九「八重山の民俗芸能」一 沖縄県民俗芸能調査
 一九八〇「八重山の民俗芸能」二 沖縄県民俗芸能調査
 沖縄考古学会 一九七八「石器時代の沖縄」新図書
 沖縄総合事務局農林水産部 一九七九「与那国島地下水調査報告書」沖縄の農業用地下水資源各論編 一 与那国島
 沖縄第四紀調査団沖縄地学会(編) 一九七五「沖縄の自然」その生いたちを訪ねて『平凡社
 沖縄大学沖縄学生文化協会 一九七一「島の概況」『与那国町の地方行政と地方自治』『与那国に於ける稲作儀礼』『村落地理』与那国島の古代遺跡とその文化概観『島の風俗習慣』婚姻・葬制・親族』『与那国島の民芸』
 「墓」『与那国島の織物』『与那国島に於ける生徒・父兄の教育環境』行動の記録『郷土』一〇号(国頭
 村比地部落・与那国島調査報告)
 沖縄地学会(編著) 一九八二「与那国島」『沖縄の島じまめぐって』日曜の地学一四 築地書館
 尾竹俊亮 一九七三「さいはてレポート」西と南のさいはて与那国島・波照間島」『青い海』二二号

か行

- 加治工真市 一九七九「ニライカナイの文化を求めて」黒潮文化の会編『新・海上の道』角川書店
 一九八〇「与那国方言の史的研究」黒潮文化の会編『黒潮の民族・文化・言語』角川書店
 加藤秀俊 一九八一「にっぽん遊覧記① 牛と魚と人間と」沖縄県八重山郡与那国町『文藝春秋』五九巻一
 金関丈夫・宮内悦蔵・和田 格 一九三九〜一九四〇「琉球人の人類的研究 第一部」生体の研究 第四・五・六
 報告 与那国島民の手掌紋に就て『台湾医学会雑誌』三八一七

金平亮三 一九一七「与那国島の森林植物」『台湾博物学会会報』七

金子エリカ 一九六一「与那国島にて」『世界の旅・日本の旅』一九

兼島 清・吉田一晴・平良初男・渡久山章 一九七三「Geochemical Investigation of Waters on Yonaguni-jima」

『琉球大学理工学部紀要』一六号

河村只雄 一九三九「八重山文化の探求」『南方文化の探求』足で書かれた沖縄民俗史』創元社

木村英太郎 一九六五「日本の最南端の町 与那国をたずねて」『地方自治』二二一

岸本マチ子 一九七四「岸本マチ子詩集 与那国幻歌」天籟通信 北九州市

喜舎場永珣 一九二四「八重山島民謡誌」(爐辺叢書)郷土研究社 東京 一九七七年復刻

(八重山歴史編集委員会編) 一九五四「八重山歴史」

一九六七「亀久節・与那国ミ猫小節・ナカナン節・ションカネ節」『八重山民謡誌』沖縄タイムス社

一九七〇「八重山古謡」上・下 沖縄タイムス社

一九七七「大和墓の由来」『八重山民俗誌』沖縄タイムス社

九学会連合沖縄調査委員会(編) 一九七六「沖縄」自然・文化・社会』弘文堂

喜友名英文 一九四六「与那国風物誌」『八重山文化』第二輯 八月号

金城朝夫 一九八一「与那国のCTS騒動」『琉球弧の住民運動』三一書房

久場政博 一九七八「ブリッドブルとカンブル」与那国の狂気観』荻野恒一編『文化と精神病理』弘文堂

久部良小学校創立55周年記念事業期成会 一九八〇「久部良小学校創立55周年記念誌」

香田定一 一九六七「地学協会報告」七(二二四ページ)

國分直一 一九八〇「南島の家畜」『日本民族文化の研究』考古民俗叢書 八〇 慶友社

一九七二「南島の石器」開野作業との関連において 与那国島の石器』『南島先史時代の研究』考古民俗叢書 八〇 慶友社

一九七六「南琉球の調査(一九六〇)」『環シナ海民族文化考』考古民俗叢書 八〇 慶友社

・金子エリカ 一九六二(KOKUBU, Naichi & Erika KANEKO) "Ryukyū Survey 1960" Asian

国立劇場事業部 一九八二『国立劇場第三十九回民俗芸能公演——与那国島の唄と踊り』
小志田恭三 一九九一『琉球女護島物語（八重山みやらび）』『文藝春秋』第九年九月

さ 行

在沖繩与那国郷友会 一九八一『二八年のあゆみ——郷友会設立28周年記念誌』
坂井 卓・浜田正平・辻 和毅・鈴木 勲・黒川睦生 一九七八『八重山群島与那国島の地質』『琉球列島の地質学的研究』三卷

崎山 直 一九七五『明治前期八重山の概況——『沖繩県八重山統計一覽略表』について』『八重山文化』二
佐藤正孝・有田 豊 一九六二『琉球与那国島の蝶類とその分布』『北九州の昆蟲』九卷三三
沢木耕太郎 一九七七『視えない共和国（与那国）』『人の砂漠』新潮社

笹森義助 一九四七『南嶋探險』（一九八二）八三 東喜望校注により刊行 平凡社
柴田 武 一九五九『琉球与那国方言の音韻』ことばの研究 秀英出版
一九七〇『与那国方言における兄弟姉妹呼称の構造』『民族学研究』三五—一

一九七一『与那国方言に関する若干の報告』『金田一博士米寿記念論集』三省堂
篠原士郎 一九六一『与那国島の水産業』鹿児島大学・琉球大学共編『琉球諸島共同調査報告』一号

志波 茂 一九七一『与那国の織物』早稲田大学アジア学会『第十次沖繩八重山調査隊与那国島調査報告書』
司馬遼太郎 一九七四『街道をゆく』6 沖繩・先島への道 朝日新聞社
島田彌市 一九一七『与那国島採集植物』『台湾博物学会会報』七

一九一七『与那国より台湾へ移入した植物』『台湾博物学会会報』七
一九一九『与那国島自生の蜜柑』『台湾博物学会会報』九

島袋俊一・田盛正雄 一九六一『与那国島の銹類類』鹿児島大学・琉球大学（共編）『琉球諸島共同調査報告』一号
下嶋哲朗 一九七八『与那国島——奥作勝子さんの話』『沖繩・聞き書きの旅』刊々堂出版

『週刊』与那国新聞 一九四九—一九五一 謄写版印刷

庄野 護 一九八二『与那国語（ことば）ノート（4）——きび刈り援農に来る人のために』g3 関西援農会

杉島敬志 一九八一『与那国島の『神の月』』『まぐり』三七号

杉本信夫 一九七五『八重山のうたの音楽性——ユンタ・ジラバ・トゥッパルマ・シンカニを中心に』『八重山文化』三

須藤 功 一九八二『マヤ踊と別れ』日本観光文化研究所（編）『日本人の生活と文化』12 神々との遊び ぎょうせい

須藤利一 一九三六『与那国島紀行——岩崎卓爾先生に捧ぐ——』『旅と伝説』九一—一〇

一九三七『与那国島のヘバラザン・ヘカイダー字』及家判『民族学研究』三一—

（翻刻）一九四〇『史料・八重山島嶼由来記』『南島』一（一九七六復刻）

（翻刻）一九四〇『史料・八重山島諸記帳』『南島』一（一九七六復刻）

（翻刻）一九四〇『史料・慶長慶田城由来記』『南島』一（一九七六復刻）

一九四四『与那国島紀行』『南島覚書』東京書局

一九七二『与那国島の『バラザン』『カイダー』字』及家判『沖繩の数学』富士短期大学出版部

菅沼孝之 一九八三『亜熱帯島嶼放牧植生の多様性の研究』植物の種と群落の多様性の解析事務局編『植物の種と群落の多様性の解析』研究班二年度報告

瀬川清子 一九六九『与那国の婚姻』『沖繩の婚姻』岩崎美術社

関 太郎 一九八三『与那国島と石垣島におけるコケ植物のフロラ多様性と気象条件』植物の種と群落の多様性の解析事務局編『植物の種と群落の多様性の解析』研究班二年度報告

関 広延 一九七六『与那国の鯉』『誰も書かなかった沖繩』大和書房

関原咲也 一九五二『琉球有用樹木誌』琉球林業試験場集報 №2

染織と生活編集部 一九七四『全調査琉球列島の織物』『染織と生活』四号

た 行

高崎 彰 一九七一『李朝実録』より見た十五世紀末の南西諸島・先島社会』早稲田大学アジア学会『第十次沖繩八

高橋俊三

重山調査隊与那国島調査報告書
一九七五『沖繩県八重山郡与那国町の方言の生活語彙』藤原与一編『広島方言研究所紀要 方言研究叢書 第四巻 方言生活語彙』三弥井書店

高嶺英言

一九五二『八重山群島植物誌』琉球林業試験場集報 No. 1

高良倉吉

一九八一『久部良割り伝説の背景』『青い海』一〇七号

高良鉄夫

一九六九『滅びゆく種族・女護ヶ島の在来馬』『世界最大の蛾・ヨナクニサン』『琉球の自然と風物』—特殊動物を探索—『琉球文教図書』

滝口 宏(編)

一九六〇『沖繩・八重山』校倉書房

竹原孫恭

一九七八『ばがー島八重山の民話』第五八話く六一話 宮良薫発行

田代安定

一九八五『八重山群島住民の言語及宗教』『東京人類学雑誌』九六号

多田 功

一九〇九『西表及与那国記聞』『東京人類学雑誌』二七五号

立松和平

一九六四『与那国におけるフィリア調査』『九州大学八重山群島学術調査報告』

達原 陽

一九八二『太陽の王』新潮社

玉泉清良

一九七七『どんな 混沌と独立の心象』『分権独立情報』五号 地域社

田中義広

一九八一『豊年祭と古謡』『沖繩国際大学文学部紀要』八巻一頁

谷川健一

一九八二『与那国島の芸能を迎えて』『まつり通信』二五八 まつり同好会

鶴藤鹿忠

一九七〇『与那国・石垣・宮古の旅』『沖繩・辺境の時間と空間』三一書房

一九七二『主屋の間取り—与那国島』『琉球地方の民家』明玄書房

東京与那国郷友会創立25周年記念誌編集委員会(編)

一九七五『どんな 東京与那国郷友会』

当間一郎

一九七八『与那国島に存する組踊写本の考察』法政大学沖繩文化研究所編『沖繩文化研究』五 法政大学出版局

版局

一九七九『与那国島の村祭り』『沖繩県文化財調査報告書』二〇 沖繩県教育委員会

戸川史子

一九七二『久部良漁村社会の概況』早稲田大学アジア学会『第十次沖繩八重山調査隊与那国島調査報告書』

友寄景清

一九七二『伝説の女護ヶ島与那国島見聞記』『台湾博物館学会会報』七

富山弘基・大野 力

一九七二『沖繩の伝統染織』徳間書店

豊川博之・丸井英二・小野雅司

一九七七『沖繩与那国島の通婚圏の研究』『民族衛生』四三

な 行

永井昌文

一九六四『与那国大和墓由来の頭骨について』九州大学海外学術調査委員会『八重山群島学術調査報告』二

号

一九六五『与那国昨今』『南島研究』一

仲宗根政善・高崎正秀(監修)

一九八〇『宮良當壯全集』第一書房

中本正智

一九七六『与那国方言の音韻』『琉球方言音韻の研究』法政大学出版局

一九七九『黒潮の流れに浮かぶ琉球の島々』黒潮文化の会編『新・海上の道』角川書店

一九八一『図説琉球語辞典』力富書房金鶏社

中山盛茂(編著)

一九六九『琉球史辞典』文教図書

仲若直子

一九七八『はるかなるどなん 与那国』『沖繩アルマナック』一号

成田義光

年代不明『書評』琉球与那国方言の研究』『人文科学』研究』三三

新納義馬

一九七四『与那国島の自然と草地』『与那国島の草地生態に関する研究』

西浦宏己・石牟礼道子(文)

一九七九『与那国島(写真集)』葦書房

西川章夫

一九六一『与那国島を訪ねて』『沖繩と小笠原』十八号

西島本用吉

一九五九『与那国島の風向について』『琉球気象台創立70周年記念論文集』

西村朝日太郎

一九八〇『与那国民俗誌素稿』『民間伝承』四四—三

西銘康展(編)

一九七五『沖繩資料集成—自然・歴史・文化・風土』グリーンライフ

日さく株式会社(編) 一九七七『与那国町地下水試掘調査報告書 昭和51年度』沖縄県土木部河川課の委託による
日本政府技術援助調査団 一九六六・一九六五年与那国島・久米島土壌断面調査報告
日本放送出版協会(編) 一九七二『全国方言資料 第十巻 琉球編二』日本放送出版協会
野村孝文 一九七三『与那国島の民家』『民俗建築』六七号

は 行

- 橋本喜代志 一九七一『島と海のあいだ』早稲田大学アジア学会『第十次沖縄八重山調査隊与那国島調査報告書』
初島住彦(他) 一九五九『与那国島有用植物について』九州大学研究速報3号——九州大学・琉球大学共同学術調査
報告 三三
初島住彦 一九七一『琉球植物誌』沖縄生物教育研究会(一九七五 追加・訂正版)
・天野鉄夫 一九七七『琉球植物目録』沖縄生物教育研究会
・坂名城泰雄(翻刻) 一九七六『史料』八重山嶋規模帳『八重山文化論集』一
(翻刻) 一九七七『史料』八重山嶋蔵元公事帳『石垣市八重山博物館館報』創刊号
(翻刻) 一九八〇『史料』八重山嶋旧記『八重山文化論集』二
(翻刻) 一九八一『史料』八重山嶋公事帳『八重山博物館紀要』創刊号
ピアソン・R 一九六九(Pearson, J. Richard) "Stone Remains of Yonaguni and Aguni" *Archaeology of the Ryukyu Islands*, University of Hawaii Press, Honolulu.
東恩納寛惇 一九五〇『注釈・南島風土記』沖縄文化研究会南島文化資料研究室
比嘉盛章 一九四〇『諸由来記主要語句解』『南島』一(一九七六年復刻)
比嘉重徳 一九一五『八重山の研究』大城活版所
比嘉康雄・谷川健一 一九八〇『琉球弧・女たちの祭』朝日新聞社
比川小学校 一九八一『創立八十周年記念 ひがわ』
平山輝男 一九六四『琉球与那国方言の特色』『音声学会会報』一一五号

- 一九六五『琉球与那国方言アクセントの研究』『音声研究』一一
一九六七『琉球先島方言の総合的研究』明治書院
・中本正智 一九六四『琉球与那国方言の研究』東京堂
・大島一郎・中本正智 一九七二『琉球先島方言の総合的研究』『沖縄文化論叢』五 平凡社
・一九七五『海上の道他界への道 与那国沖繩からマダガスカルまで』世界思想社
・深作光貞 一九七八『与那国島の童謡・子守唄』池間苗子発行
・富里武市 一九七八『与那国島の童謡・子守唄』池間苗子発行
・宮良保全・富里康子 一九七〇『与那国民謡工四——歌詞解説付』与那国民俗芸能伝承保存会
・富里康子 一九七九『与那国島の舞踊』『沖縄県文化財調査報告』二〇 沖縄県教育委員会
・古川博泰 一九八一『九州・沖縄の地下水(財)九州大学出版会
・藤本義昭 一九七二『琉球八重山群島——与那国島の生物(一)』甲南出版社
・文藝春秋編集部 一九七二『人べらし』今昔(復帰する離島)③——与那国島』『文藝春秋』創刊五十周年記念号(二
月号)

ま 行

- ・外間守善・宮良安彦(編) 一九七九『南島歌謡大成——八重山篇』角川書店
・保仙純剛 一九七一『与那国島におけるビジュアルに関する田植儀礼』『人類科学』二三
・一九七九『ドゥムチ(世持)のムラ支配』沖縄県与那国町の調査報告『沖縄民俗研究』二
・一九七九『ビディリと民間信仰』『南島——その歴史と文化』二
・堀 浩・野村健一 一九三五『八重山諸島の蛾類に就いて』『昆虫』九巻三三
・本田安次 一九六二『与那国島へ』『与那国島の司』『与那国島のながん節』『与那国島の棒踊』『南島採訪記』明善堂
・一九七三『与那国島の踊歌』『離島・雑纂——研究と資料』木耳社
・一九八一『与那国島のカンブナガ』『まつり』三七号

ま 行

- ・前新加太郎 一九四二『与那国島の童謡』『南島』二

前花哲雄 一九七一『女護ヶ島——苛酷な人頭税物語』琉球文教図書

一九七六『与那国の畜産——八重山の畜産風土記』私家版

真栄城守定 一九八一『与那国へ』八重山・島社会の風景 おきなわ文庫02 ひるぎ社

牧田 勲 一九七一『与那国の親族用語』早稲田大学アジア学会『第十次沖縄八重山調査隊与那国島調査報告書』

牧野 清 一九六八『八重山の明和大津波』私家版(改訂増補版一九八一)

一九七二『新八重山歴史』私家版

一九八〇『与那国島領土の研究——とくに『後に悪鬼納加納志の御手に入りける時』の解釈について』

『八重山文化論集』二

正木 譲 一九五九『与那国島における冬季の季節風について』琉球気象台(編)『琉球気象台創立七十周年記念論文集』

増尾由太郎 一九八一『トウング・ダ(人樹田)クラブ・バリ(久部良割)伝説考』私家版

松井一郎 一九六二『沖縄の蜻蛉(II)』宮古・久米・与那国の蜻蛉 Aikis 十

松田泰一 一九七三『与那国島の芸能』『青い海』二

松永和人 一九六七『沖縄・八重山群島・与那国島の〈門中〉に関する予備的報告』『民族学研究』三二—

松波久子 一九七八『与那国昔話話型一覽』奄美・沖縄民間文芸研究 創刊号

三隅治雄 一九七八『与那国の昔話』奄美・沖縄民間文芸研究 創刊号

光岡 明 一九七四『与那国島の鳥歌』『日本民俗誌大系 月報』第二号 角川書店

宮城朝章 一九八二『とに』漂流——与那国紀行』季刊 くりま 九号

宮良賢貞 一九八一『与那国町の御嶽の植生』『沖縄県社寺・御嶽林調査報告IV』沖縄県教育委員会

宮良賢貞 一九七九『与那国民俗雑誌』八重山芸能と民俗 根元書房

宮良係好・岡部正明 一九五九『与那国島(八重山群島)のヨナクニサンについて』『げんせい』九号

宮良泰平 一九七五『八重山方言の素性』私家版

一九七九『続 八重山方言の素性』私家版

宮良長詳 一九三六『与那国の『マリヤ』に就て』『実地医家と臨床』一三

宮良長詳

一九三六『与那国の『マリヤ』に就て』『実地医家と臨床』一三

宮良當壯 一九二六『採訪南島語彙稿』(第一書房刊『宮良當壯全集』7)

一九三〇『八重山語彙 附 八重山語総説』東洋文庫(第一書房刊『宮良當壯全集』8)

宮良保全・富里康子 一九八二『改訂版 与那国民語工四』与那国民俗芸能伝承保存会

宮脇 昭・鈴木邦雄・藤原一絵・宮城康一 一九七九『与那国島の植生——琉球列島の植生学的研究V』

本山桂川 一九二五『与那国島図誌』(鑑辺叢書)郷土研究社

一九四二『与那国島』島と島人 八弘書店

一九七四『与那国島図誌』『日本民俗誌大系』第一卷 角川書店

もろさわようこ 一九七四『おんな・部落・沖縄』未来社

や 行

八重山支庁(編) 一九八二『八重山要覧』

矢沢清貴 一九七九『与那国島の琉球層群について』木崎甲子郎(編)『琉球列島の地質学的研究』第四巻

矢沢 湊 一九七四『与那国島——その風土と生活』『日大三高研究年報』十七号

一九七五『忘れられた島・与那国——その現状と将来』『青い海』四〇号

一九七八『与那国島を歩く』地図を10倍に使う本』文潮出版

屋代浩孝 一九三九『ヨナクニサン *Samia altus* Linnaeus の生活史に就いて』『昆虫』十三巻三号

柳 梢悦(編) 年代不明『与那国島』『南島水路誌』巻之一

柳田国男 一九二一『与那国の女たち』『太陽』二七巻四号(原題 与那国噺)

山里昌弘 一九七二『与那国に旅して』『琉球の文化』二号

山下七郎 一九六五『八重山群島与那国島の漁業——とくにカツオ節加工について』『新地理』一三一—

山田 裕・木村 悟・松坂泰明・加藤好武 一九七三『石垣島、宮古島および与那国島の農耕地の土壌調査と分類』『農

業技術研究所報告』B 第二四号

吉川博也 一九七七『経済人類学と生態経済学の展開——沖縄与那国島における文化進化論研究序説』『技術と経

吉田一晴・兼島 清・平良初男・渡久山章 一九七三『与那国島海浜のビルジおよび廃油等による汚染状況について』

『琉球大学理工学部紀要』一六号

吉元政吉・吉元初枝 一九八一『いつまでも残したい与那国(どなん)のことば』

与那国島測候所 一九八一『与那国島の気候略表』

与那国青年会 一九五〇『ながれ』(季刊)

与那国町 一九八二『与那国町勢要覧』『与那国町勢要覧』『よなくに——与那国町要覧』

一九八〇『過疎地域振興計画書(前期)』

与那国町教育委員会 一九七八『与那国島の民話集』

一九七八『与那国島の無形文化財』

一九七九『与那国島の文化財』

一九八二『新版 わたしたちの与那国町(3年)』

与那国町民芸品保存会 一九八二『創立十周年記念誌』

与那国町立久部良中学校 一九八一『学校要覧』

与那国町立久部良中学校独立二五周年記念事業期成会 一九八一『久部良中学校独立二五周年記念誌』

与那国町立与那国小学校 一九八〇『創立九五周年記念誌——ななた』

一九八二『沖縄県教育委員会指定体力づくり推進校 昭和五十六年度(第一次) 研究報告書』

一九八二『学校要覧』

与那国町立与那国中学校 一九七九『創立三十周年記念誌——うらぶ』

一九八二『学校要覧』

与那原真吉 一九六九『与那国島春祭』『まつり通信』九六

一九八一『国境の島与那国の情緒』『まつり』三七号

ら・わ行

李 熙永 一九七二『朝鮮李朝実録所載の琉球諸島関係資料』谷川健一編『沖縄学の課題』木耳社

琉球政府 一九六八『浦野の気候略表』『久部良の気候略表』『石垣島の気候表』創立70周年記念

琉球政府通商産業局公益事業課 年代不明『与那国島総合電化計画』一九六六年

琉球政府文化財保護委員会 一九六五『天然記念物調査報告(Ⅰ) 与那国在来馬について Ⅱ ヨナクニサンおよびそ

の生息地』『琉球文化財調査報告書』一九六五年版

レックム・A 一九八二『島世界の秩序』『沖縄研究国際シンポジウム・シンガポール集』ROKKUM, Arne, The Order

in the Island Universe "International Symposium in Okinawan Studies"

早稲田大学アジア学会 一九七一『第十次沖縄八重山調査隊与那国島調査報告書』

和田 格 一九三九『与那国島婦人の入墨』『南方土俗』五一三

一九三九『ドゥナン紀行』『ドルメン』五四

一九四一『琉球与那国島民の人類学的研究』『台湾医学雑誌』四〇—一〇

渡辺欣雄・植松明石編 一九八〇『与那国の文化——沖縄最西端与那国島における伝統文化と外来文化——周辺諸文

化との比較研究』与那国研究会

一九八〇『与那国の文化——沖縄最西端与那国島における伝統文化と外来文化——覚書とし

て——』『跡見学園女子大学紀要』一三三

高谷好一（たかや よしかず） 京都大学東南アジア研究センター教授
 佐々木高明（ささき こうめい） 国立民族学博物館教授
 渡部忠世（わたべ ただよ） 京都大学東南アジア研究センター教授・所長
 生田 滋（いくた しげる） ユネスコ東アジア文化研究センター調査資料室長
 石垣博孝（いしがき ひろたか） 前石垣市教育委員会勤務
 大林太良（おおしげ やしなりょう） 東京大学教養部教授
 高谷紀夫（たかたに みちお） 鹿児島大学教養部講師
 飯島 茂（いじま しげる） 東京外国語大学A.A.研教授
 田中耕司（たなか こうじ） 京都大学東南アジア研究センター助教授
 松山利夫（まつやまとしお） 国立民族学博物館助教授
 安溪遊地（あんけい ゆうじ） 山口大学教養部講師



南島の稲作文化 与那国島を中心に

1984年6月20日 初版第1刷発行

渡部忠世／生田 滋 編

財団法人 法政大学出版局

東京都千代田区富士見2-17-1

振替 東京0-95814 電話(03)237-1731

印刷／三和印刷 製本／鈴木製本所

1025-20115-7710 Printed in Japan

事項索引

ア行

奄美大島
 稲作 34
 稲作起源伝承 167-170, 171, 172
 稲盛みモチーフ 168-170
 作物起源伝承 166, 171
 農耕儀礼 50, 51
 新城島 30, 119, 296, 297
 アソ作 57-58, 60-61, 62
 石垣島 12, 25, 69, 137, 138, 144, 295, 296, 297
 稲作起源伝承 167
 在来米の稲 78-79
 稲作
 アジアの 3-4
 奄美大島の 34
 奄美諸島の 39-40
 一期作型 47-48
 伊良部島の 30, 119
 西表島の 30, 41, 119, 318-319
 沖縄本島の 31, 32-33, 35
 近世的 36-42
 久米島の 33
 種子島の 34-35
 徳之島の 34
 南島低湿度区の 21
 二期作型 33, 35, 46-47, 49, 118
 熱帯湿地の 4, 21, 23
 ヒコバエ育成型 32-33, 34-35, 46, 49
 八重山諸島の 88-90
 与那国島の 30, 31-32, 39, 41, 217-218, 232-233, 244-257, 302-305, 318-319
 離島地域の 33

稲作起源伝承 説話, 神話
 奄美大島の 167-170, 171, 172
 石垣島の 167
 雲南省の 175
 沖縄本島の 165-167, 172, 175
 穂落型 165-167
 与那国島の 161-164, 167
 稲作儀礼 与那国島の 32
 稲作地帯, 15世紀後半南島の 31
 稲作暦 31-42, 42-57, 302-304
 与那国島の 244-257
 稲（稲品種）
 スラウエシの 87-88
 早生種の 31-32
 ハルマヘラの 87
 Bulu 型の 81-82, 83, 84-85
 ルンソ島の 88
 一在来米の稲
 稲盛みモチーフ
 奄美大島の 168-170
 与那国島の 163-164
 伊平屋島 51, 54
 伊良部島 30, 119
 西表島 69, 138, 140, 296, 297
 稲作 41, 119, 318-319
 風 316-317
 降水量 315-316
 在来米の稲 78, 79
 生物相 317
 農耕儀礼 140-148
 沖縄本島 108
 稲作 31, 32-33, 35
 稲作起源伝承 165-167, 172-175
 作物起源伝承 166, 167-168